

コートレフリーに当たった先生方へ

岐阜県高等学校体育連盟テニス専門部

高体連のテニス競技は、他の競技と違い、高校生が審判を行います。コートレフリーに入る先生方は、下記の仕事をすることで行うことで、審判の手助けをしてあげてください。主役はあくまでも高校生ですので、先生方は審判を守る役目であることを忘れないでください。また、選手、監督、観客の、目に余る言動には厳しく対処して下さい。なお、分からないことがありましたら、ご自分で判断なさらず、必ずトランシーバーで審判部の人間を呼び出して下さい。

(コートレフリーの仕事内容)

1. 自分の担当するコートで行われるべき試合が、正しい状態で行われているか確認する。
2. 自分の担当するコートの審判がしっかりとした判定をし、大きな声でコールしているか確認する。
3. 自分の担当するコートの試合結果を確認しサインする。試合結果を速やかに進行担当に連絡する。
4. 自分の担当するコートの選手や監督、観客が違反行為をしていないか確認し、警告を与える。

1の詳しい内容

1. シングルの試合ではシングルス・スティックが立っているか確認する。ダブルスの試合ではシングルス・スティックが外されているかを確認する。
(コート保護のためスティックの下にゴムシートを敷かせて下さい。使用しないスティックは審判台の下に。)
2. 対戦相手、審判用紙に間違いがないかを選手、審判に確認する。間違いがあれば進行担当に確認する。
3. 審判、ボーラーがそろっているか確認する。その際、当該校の生徒であることも確認する。
4. 選手・監督のウエア・用具に関する違反がないかを確認する。
(色の規制はありませんが、シャツは男女とも襟付きで、女子のワンピースの着用は認めています。ラケットのストリングのロゴは認めません。また監督もテニス競技にふさわしい服装を着用させて下さい。違反がある場合はすぐ着替えさせてから試合を始めて下さい)
5. ゲーム進行がスコアボードで表示されているか確認する。
(試合が始まる時点までにゲーム数を「0-0」にさせて下さい。副審がつく試合は副審の仕事です。団体戦の場合は、同一対戦中は前の試合のスコアを残し、次の欄にスコアを表示させて下さい)

2の詳しい内容

1. 審判の健康状態を把握しておく。変更が必要ならトランシーバーで審判部にその旨を伝え、代わりを出してもらうように要請する。(誤審が続く、確認したところ体調不良だったという例もあります。気をつけて下さい)
2. 判定に関して以下の点をチェックする。
 - (1) ポイントが決まったら直ちに大きな声でアナウンスしているか？
(声が聞き取れず、プレーが止まらない場合などは、審判台のそばに行って審判に大きな声を出すよう指導して下さい)
 - (2) 選手間の紛争を解決しているか？
(選手がもめている場合はコートに出向き、主審から事情を聞き試合を再開する手助けをして下さい。判定は主審の判定を尊重して下さい。主審に対して選手が不信感を抱かぬよう対応してあげて下さい)
 - (3) インプレー中のレットを取っているか？
(プレー中に隣のコートからボールが入ってきたら、主審の「レット」のコールでプレーを止め、ファーストサービスからやり直します。選手がボールや帽子を落とした場合は「レット」をコールした上で、1回目は警告2回目以降は失点となることを選手に伝えてください)
 - (4) 20秒(ポイント間)・90秒(フィッツ・インド)のルールを守っているか？
(主審は必ず手元にストップウォッチを持ち、時間を計ります。計っていない場合は、審判に指導して下さい。前のプレー終了後から時間を計らせて下さい。今回個人戦のみ1ゲーム終了後のチェンジエンドは20秒です)

3の詳しい内容

試合終了後、速やかに下記の2点を行って下さい。

- (1) 審判用紙の確認・・・試合終了後、審判用紙が正確に記入されているか確認し、コートレフリーのサインをする。
- (2) 試合終了の報告・・・トランシーバーで進行担当を呼び出し、何番コートの誰(勝者)が、いくつ(終了スコア)で勝ったかを伝える。
(トランシーバーの使い方は下を参照して下さい)

4の詳しい内容

以下のような違反行為がありましたら、審判部に確認の上、警告・指導(ソフトウォーニング)を与えて下さい。

1. 選手・・・遅刻、ラケットの乱用、ボールの乱用、言葉の乱用、携帯電話の作動(必ず電源を切らせること)、自然的体力消耗に基づく遅延行為などです。

(遅刻に気づいた時点から時間を計って下さい。15分を超えた時点で失格となります。ただし、失格の判断はレフェリーが行います。審判部を呼び出してください。)

(ラケットやボールを地面にたたきつける行為は警告対象となります。なおラケットやボールを対戦相手や審判に投げつけたり、ラケットで器物を破損した場合などは失格の対象行為です)

(足の痙攣等でプレーが困難な選手が遅延行為を行った場合(ポイント間20秒、チェンジエンド90秒)はプレーを始めるよう警告・指導を続けてください。なお、ひどい怪我や過呼吸などプレーの続行が難しそうな場合は審判長を呼び出してください。棄権の意思確認は大会レフェリーが行います。)

(監督や他の選手(ダブルスの試合の場合、ペアがさわることは可能)が選手に手を触れた場合は、選手が失格となります。選手がベンチに戻ってきた場合にのみ選手に触ることができます)

2. 監督・・・コーチング違反(選手チェンジエンド時以外の助言、携帯電話の作動)です
(審判では注意できませんので、先生方から注意をお願いします。悪質な場合は審判部に連絡して下さい)
3. 観客・・・不適切な応援(相手選手への誹謗中傷、コーチング違反)です
(審判では注意できませんので、先生方から注意をお願いします。悪質な場合は審判部に連絡して下さい)

トランシーバーの使い方

1. チャンネルは原則として3チャンネル、音量は中程度に合わせてあるか確認して下さい。
2. 本体右部のスイッチを押しながら呼び出して下さい。結果の報告の場合は最初に「進行お願いします」、トラブルの報告の場合は「審判お願いします」と呼び出して下さい。話し終わりましたら、スイッチから指を離して下さい。
3. 「進行です」「審判です」という返信を確認してから、スイッチを押しながらスコアやトラブルの報告をして下さい。話し終わりましたら、スイッチから指を離して下さい。
4. 「進行(審判)了解しました」という返信が来れば報告完了です。

先生方へのお願い

1. コートレフリーの時間割が配布されますので、ご自分の時間の2～3分前にはコートに出向いていただき、前の先生から引き継ぐようにして下さい。
2. 試合開始時、終了時には必ずコートに出向いていただき、1、3の仕事を行って下さい。
3. フットフォールトなど、審判の目に入りにくい違反行為にお気づきになりましたら、コートまで出向いていただき、主審にそのことを伝えて下さい。その上で、チェンジエンドの際、両選手を呼んで「フットフォールトがあれば主審が指摘します」と伝え、再発防止を促して下さい。
4. ストップウォッチを持っていただき、20秒ルール90秒ルールが徹底するよう確認をお願いします。